

ZEH目標公表資料

ZEHの周知・普及に向けた具体策

高断熱・風通し・調湿などをスタンダード仕様とし、モデルを示す等。

オープンハウス等を行うことで地場の顧客に体験してもらう。

ZEHのコストダウンに向けた具体策

太陽光発電は、自家で発電し使用し将来の電気自動車のチャージにも使う。売電を目的としない行き過ぎのない設備を目指す。

標準仕様を確立し、職人との連携を密にし、施工精度を高め、ロスのない発注を目指す。

その他の取り組み

日常的な省エネライフスタイルの提案。

新築後のメンテナンス・ソフト面のケア等、生涯にわたって家を見守る。

今後の普及率目標（年度毎）

「ZEHロードマップ」に基づき、

受注する住宅のうちZEH(Nearly ZEH含む) が占める割合を

平成32年度までに50%以上とする事業目標を掲げる。

2017年度目標（平成29年度）：15%

2018年度目標（平成30年度）：15%

2019年度目標（平成31年度）：20%

2020年度目標（平成32年度）：50%